

■日時：11月27日（木） 9：00～10：00

■会場：第1会場

1. HIV の遺伝子／複製

座長 松岡雅雄（京都大学ウイルス研究所付属
エイズ研究施設感染免疫研究領域）
小柳義夫（東北大学大学院医学研究科）

001 HIV-1のゲノム二量体化及びパッケージングに関する解析

櫻木淳一、塩田達雄
（大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野）

002 HIV-1 インテグラーゼ変異体の機能解析

池田たま子、周 Xin¹、吉成隆二¹、奈良信夫²、大橋 貴¹、神奈木真理¹、増田貴夫¹
（東京医科歯科大学免疫治療学講座¹、東京医科歯科大学臨床検査医学講座²）

003 HIV-1 Vpr による pre-mRNA スプライシング阻害反応の解析

倉光 球、橋爪智恵子¹、我妻昭彦¹、横田恭子²、間陽子¹
（理化学研究所 分子ウイルス学研究ユニット¹、国立感染症研究所免疫部²）

004 スプライソソームとの相互作用を介して起こる HIV-1Vpr のスプライシング阻害反応の解析

橋爪智恵子、倉光 球、我妻昭彦、間 陽子
（理化学研究所）

005 HIV-1 mRNA の量比に及ぼすVprの影響の解析

我妻昭彦、木全清典、間 陽子
（理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット）

006 HIV-1・Tat による OGG1遺伝子のフィードフォワード活性化

今井健一、岡本 尚
（名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学）

屋勝治¹、立川夏夫¹、菊池 嘉¹、安岡 彰²、岡 慎一¹、木村 哲¹

（国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター¹、富山医科薬科大学 感染予防医学講座²）

008 2003年における抗 HIV 療法の有効性と課題

花房秀次、木内 英¹、田中理恵²、太田未緒¹、和田育子¹、小島賢一¹、加藤真吾²
（荻窪病院血液科¹、慶應義塾大学微生物²）

009 抗 HIV 療法初回治療時の薬剤はどう選択されたか

大瀧 学、山元泰之¹、西田恭治¹、藤田 進²、鈴木隆史¹、香川和彦¹、天野景裕¹、福武勝幸¹
（東京医科大学臨床検査医学科¹、東京医科大学八王子医療センター²）

010 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第一報 CD4値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移

白阪琢磨、日笠 聡²、岡 慎一³、川戸美由紀⁴、山口拓洋⁵、吉崎和幸⁶、木村 哲³、福武勝幸⁷、橋本修二⁴

（国立病院大阪医療センター臨床研究部免疫感染研究室¹、兵庫医科大学総合内科血栓止血老年病科²、国立国際医療センター病院エイズ治療研究開発センター³、藤田保健衛生大学医学部衛生学⁴、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻⁵、大阪大学健康体育部健康医学第一部門⁶、東京医科大学臨床検査医学⁷）

011 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第2報 AIDS 発病と CD4値、HIV-RNA 量、抗 HIV 治療との関連性

川戸美由紀、橋本修二¹、山口拓洋²、岡 慎一³、吉崎和幸⁴、木村 哲³、福武勝幸⁵、日笠 聡⁶、白阪琢磨⁷

（藤田保健衛生大学医学部衛生学¹、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻²、国立国際医療センター病院エイズ治療研究開発センター³、大阪大学健康体育部健康医学第一部門⁴、東京医科大学臨床検査医学⁵、兵庫医科大学総合内科血栓止血老年病科⁶、国立病院大阪医療センター臨床研究部免疫感染研究室⁷）

012 HIV 感染後20年経過し、現在生存中の血友病患者20例の臨床経過について

高嶋能文、奈良妙美、西尾信博、堀越泰雄、三間屋純一
（静岡県立こども病院血液腫瘍科）

013 国内未承認エイズ治療薬等を用いた HIV 感染症治療薬及び HIV 感染症至的治療法の開発に

■日時：11月27日（木） 10：00～11：30

■会場：第1会場

2. 抗 HIV 療法 I

座長 上平朝子（国立病院大阪医療センター
免疫感染症科）
山元泰之（東京医科大学臨床検査医学科）

007 当センターにおける抗 HIV 薬の変遷について

矢崎博久、上田晃弘¹、吉田邦仁子¹、田沼順子¹、鈴木康弘¹、本田美和子¹、瀧永博之¹、源河いくみ¹、照

係る応用研究

永泉圭子、山元泰之²、青木 眞³、味澤 篤⁴、岡慎一⁵、木村 哲⁵、白阪琢磨⁶、高田 昇⁷、花房秀次⁸、三間屋純一⁹、松宮輝彦¹⁰、福江英尚¹¹、福武勝幸²

(東京医科大学医学部臨床検査医学講座、ヒューマンサイエンス振興財団¹、東京医科大学医学部臨床検査医学講座²、順天堂大学医学部細菌学³、東京都立駒込病院感染症科⁴、国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター⁵、国立大阪病院総合内科⁶、広島大学医学部輸血部⁷、荻窪病院血液科⁸、静岡県立こども病院血液腫瘍科⁹、東京医科大学医学部薬理学講座¹⁰、東京医科大学霞ヶ浦病院感染症科¹¹)

014 2002年度血液凝固異常症全国調査の該当期間における死亡報告と累積生存率について

立浪 忍、瀧 正志²、三間屋純一³、白幡 聡⁴、桑原理恵⁵、浅原美恵子²、山田兼雄⁶

(聖マリアンナ医科大学医学統計¹、聖マリアンナ医科大学小児科²、静岡こども病院血液腫瘍科³、産業医科大学小児科⁴、聖マリアンナ医科大学大学院附属研究施設⁵、エイズ予防財団⁶)

015 HIV 患者におけるインフルエンザワクチンの有効性の検討

山中ひかる、照屋勝治¹、田中真理¹、土屋亮人¹、田沼順子¹、矢崎博久¹、鈴木康宏¹、本田美和子¹、瀧永博之¹、源河いくみ¹、立川夏夫¹、五反田亨²、鈴木雄次郎²、菊池 嘉¹、平林義弘¹、岡 慎一¹、木村 哲¹

(国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター¹、北里研究所生物製剤研究所²)

■日時：11月27日（木） 9：00～9：50

■会場：第2会場

3. 治療薬開発 I

座長 児玉栄一（京都大学ウイルス研究所）

016 新規の CCR5 阻害剤 AK602/ONO4128/GW873140の抗 HIV 活性と生物学的特性

前田賢次、中田浩智¹、こう康博¹、宮川寿一¹、緒方宏美¹、高岡義和²、柴山史朗²、佐川健二²、福島大吉²、満屋裕明¹

(熊本大学医学部免疫病態学・内科学第二¹、小野薬品工業水無瀬総合研究所²)

017 新規の CCR5 阻害剤 AK602/ONO-4128 の AIDS モデルマウスでの抗 HIV 効果の検討

中田浩智、前田賢次¹、宮川寿一¹、河野祐治²、柴山史朗³、高岡義和³、小柳義夫²、満屋裕明¹

(熊本大学医学部免疫病態学・第二内科¹、東北大学医学部微生物学教室²、小野薬品工業水無瀬総合研

究所³)

018 bis-tetrahydrofuranylurethane (bis-THF) を含む新規のプロテアーゼ阻害剤 UIC-94017/TMC114の同定と抗 HIV 活性の検討

コウ康博、中田浩智¹、緒方宏美¹、前田賢次¹、Weber Irene²、Ghosh Arun³、満屋裕明¹
(熊本大学医学部免疫病態学・内科学第二¹、Georgia State University²、University of Illinois at Chicago³)

019 C34誘導体SC34および SC34EK は fusion inhibitor 耐性ウイルスに効果を示す

行木大輔、児玉栄一¹、大高 章²、藤井信孝²、松岡雅雄¹

(京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設感染免疫研究領域¹、京都大学薬学研究科²)

020 新規化合物カバゾール誘導体による HIV-1 インテグラーゼ活性の抑制

巖 馬華、千葉智子²、西澤雅子²、野村伸彦³、北村義浩⁴、山本直樹¹、杉浦 亙²

(東京医科歯科大学医歯学総合研究科¹、国立感染症研究所エイズ研究センター²、(株)富山化学工業 総合研究所³、東京大学医科学研究所⁴)

■日時：11月27日（木） 9：00～9：50

■会場：第3会場

4. マルチ・セクターな連携

座長 矢永由里子（国立病院九州医療センター 感染症対策室）

021 AIDS 普及啓発における GO と NGO の連携の方法論に関する研究

五島真理為、新庄文明²、佐甲 隆³、中瀬克己⁴、白井良和⁵、川辺伊公子⁶、並川敏章⁷、小林和子⁴、木下ゆり¹、ストロネル ケイトリン¹

(特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター¹、長崎大学大学院²、三重県松阪保健所³、岡山市保健所⁴、和歌山県岩出保健所⁵、三重県四日市保健所⁶、和歌山県田辺保健所⁷)

022 福岡県における HIV 関連専門職種によるネットワークの構築「福岡 HIV 保健医療福祉ネットワーク会議」：7年間の振り返りと今後

矢永由里子、山本政弘¹、大坪輝行¹、下川寛子²、田村賢二³、永田寛子¹、三木浩司⁴、向笠章子⁵、森いくみ⁶、吉川博政¹

(国立病院九州医療センター¹、福岡市中央区保健福祉センター健康課²、福岡大学病院医療相談室³、社会保険小倉記念病院精神科⁴、医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院心理相談室⁵、福岡県山門保健福祉環

境事務所保健課⁶⁾

- 023 **岡山 HIV 診療ネットワークの社会活動第 2 報**
三宅晴美、山田 治²⁾、藤原充弘³⁾、高田眞治⁴⁾、中瀬克己⁵⁾、戸部和夫⁶⁾、石橋京子⁷⁾、中島弘徳⁸⁾
(川崎医科大学附属病院看護部¹⁾、山口大学医学部保健学科²⁾、倉敷中央病院小児科³⁾、岡山済生会総合病院内科⁴⁾、岡山市保健所⁵⁾、岡山大学保健管理センター⁶⁾、岡山大学医学部附属病院⁷⁾、岡山理科大学⁸⁾)
- 024 **カンボジア王国プノンペン市の NGO 病院におけるエイズと結核の包括的診療アプローチ**
木村京子、野内英樹
(結核研究所 エイズ・結核プロジェクト)
- 025 **J-AIDS：エイズを扱うメーリングリストを通じて**
高田 昇
(広島大学病院 エイズ医療対策室)

■日時：11月27日（木） 9：50～11：10

■会場：第 3 会場

5. アドボカシーとポリシー

座長 沢田貴志（神奈川県勤労者医療生協
港町診療所）
花井十伍（大阪 HIV 訴訟原告団）

- 026 **日本のゲイ男性／MSM における医療保健サービスへのアクセシビリティの阻害要因についての調査**
鳩貝啓美、柏崎正雄²⁾、菅原智雄¹⁾、風間 孝²⁾
(NPO 法人 動くゲイとレズビアン¹⁾の会、財団法人 エイズ予防財団²⁾)
- 027 **免疫機能障害における身体障害者手帳制度の運用実態について**
小西加保留、本橋宏一²⁾、古賀宣文³⁾
(桃山学院大学社会学部社会福祉学科¹⁾、国保旭中央病院²⁾、大分市在宅介護支援センターこが³⁾)
- 028 **わが国の PWA／H および家族の社会サービスニーズと NGO と他の連携**
伊藤麻里子、五島真理為¹⁾、平松 茂¹⁾、大郷宏基¹⁾、塩入康史¹⁾、新庄文明²⁾
(特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター¹⁾、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科²⁾)
- 029 **外国人 HIV 感染者の医療近接性に関する調査 (2002年度版)**
沢田貴志、野村由華²⁾、奥村順子²⁾、若井 晋²⁾
(神奈川県勤労者医療生活協同組合 港町診療所¹⁾、東京大学大学院医学研究科国際地域保健学教室²⁾)

- 030 **日本における在日外国人 HIV 感染者医療状況の 3 年間の変遷**
宇野賀津子、沢田貴志²⁾、内海 眞³⁾、菊池恵美子³⁾、吉崎和幸⁴⁾、白阪琢磨⁵⁾
(財ルイ・パストゥール医学研究センター¹⁾、港町診療所²⁾、国立名古屋病院³⁾、大阪大学・健康体育部⁴⁾、国立大阪病院⁵⁾)
- 031 **HIV／エイズと報道 長期にわたって継続する現象への情報の確度を高めるための日本記者クラブの試み**
宮田一雄
(産経新聞編集部)
- 032 **危機管理対策提言：シンガポールにおける HIV／AIDS 対策と SARS 対策の比較から見る政府の「危機」に対する認識の重要性**
今津里沙、野内英樹²⁾、佐藤礼子²⁾
(London School of Hygiene and Tropical Medicine¹⁾、結核予防会結核研究所²⁾、結核予防会結核研究所³⁾)
- 033 **抗 HIV 薬と知的財産権**
久 智行、山崎繭加、玉井克哉、柳衛宏宣、江里口正純
(東京大学先端科学技術研究センター)

■日時：11月27日（木） 9：00～10：30

■会場：第 4 会場

6. 検査

- 座長 佐野浩一（大阪医科大学微生物学教室）
金田次弘（国立名古屋病院臨床研究センター）
- 034 **CD4陽性細胞数算定に関する全国調査結果**
正兼亜季、小川 哲²⁾、上野朱美²⁾、酒向良博²⁾、山田三枝子¹⁾、辻 典子¹⁾、戸来依子¹⁾、上田幹夫¹⁾
(石川県立中央病院 HIV 診療チーム¹⁾、石川県立中央病院中央検査部²⁾)
- 035 **A successful modification of Dynabeads method for CD4+ T cell count and its application of monitoring ART in resource-limited situations**
Xiuqiong Bi、Miwako Honda、Kuniko Yoshida、Satoshi Kimura、Shinichi Oka
(AIDS Clinical Center, International Medical Center of Japan)
- 036 **全施設を対象にした HIVRNA 定量のコントロールサーベイおよびアンケート調査の検討**
吉原なみ子、坂本優子¹⁾、福嶋浩一¹⁾、今井光信²⁾、林 邦彦³⁾、井土美由紀³⁾

(国立感染症研究所エイズ研究センター¹、神奈川県立衛生研究所²、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社³)

- 037 未治療 HIV-1感染患者における CD4陽性細胞数と細胞内 HIV-1 DNA 量の相関性
和田かおる、永井裕美、萩原智子、内海 眞、金田次弘
(国立名古屋病院臨床研究センター)

- 038 高感度リアルタイム PCR 法のバリデーション
永井裕美、和田かおる¹、森下高行²、内海 眞¹、西山幸廣³、金田次弘¹
(国立名古屋病院臨床研究センター¹、愛知県衛生研究所微生物部²、名古屋大学医学部³)

- 039 超高感度逆転写酵素活性測定法を用いた HIV 感染者血漿中の逆転写酵素活性
小田原史知、河野武弘²、木本美和³、今村茂行¹、白阪琢磨³、佐野浩一²
(旭化成株式会社診断薬研究部¹、大阪医科大学微生物学教室²、国立病院大阪医療センター臨床研究部³)

- 040 コラーゲンスポンジを用いたバイオヒト皮膚モデルにおける HIV-1検出法の検討
鈴木寿子、土屋利江²、吉原なみ子¹
(国立感染症研究所 エイズ研究センター¹、国立医薬品食品衛生研究所療品部²)

- 041 長期にわたり HIV-1抗体価が低レベルで推移した感染者における血漿中の HIV-1 nef/LTR 領域の経時的解析
近藤真規子、嶋 貴子¹、須藤弘二²、岩室紳也³、岡部武史³、今井光信¹
(神奈川県衛生研究所微生物部、エイズ予防財団¹、神奈川県衛生研究所微生物部²、厚木市立病院³)

- 042 タイ国バンコク市の地域病院にて妊産婦外来を受診した妊産婦における自発的カウンセリング及び HIV 検査 (VCT) の受諾プロセスに関する研究
佐藤礼子、野内英樹
(財結核予防会 結核研究所)

■日時：11月27日 (木) 10：30～11：20

■会場：第4会場

7. 歯科

座長 前田憲昭 (医療法人社団皓歯会)

- 043 HIV 感染症における口腔症状の全国調査
小森康雄、池田正一²、前田憲昭³、田上 正⁴、樋口勝規⁵、山口 泰⁶

(東京医科大学 口腔外科学講座¹、神奈川県立こども医療センター²、医療法人 社団皓歯会³、国立国際医療センター⁴、九州大学歯学部⁵、国立仙台病院⁶)

- 044 HIV 感染者の歯科受診の現況
巢山 達
(札幌医科大学口腔外科学講座)

- 045 HIV/AIDS 患者への歯科受診支援における歯科医療機関の対応
中野恵美子、山田由紀¹、福山由美¹、武田謙治¹、伊藤将子¹、大金美和¹、池田和子¹、渡辺 恵¹、田上正²、岡 慎一¹、木村 哲¹
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター¹、国立国際医療センター 歯科口腔外科²)

- 046 HIV/AIDS 患者の歯科診療時の問題点
松本宏之
(東京医科歯科大学歯学部附属病院)

- 047 HIV 患者の歯科診療～地域歯科医師会との連携について～
藤代洋子、草間千春¹、成田政江¹、高橋一郎²、大石毅²、中島仁一³、福江英尚²
(東京医科大学霞ヶ浦病院感染症科病棟¹、東京医科大学霞ヶ浦病院 感染症科²、茨城県土浦歯科医師会³)

■日時：11月27日 (木) 9：00～10：00

■会場：第5会場

8. HIV 分子進化系統

座長 井戸栄治 (京都大学ウイルス研究所)
武部 豊 (国立感染症研究所エイズ研究センター)

- 048 HIV-1サブタイプ B' の起源とアジアにおける流行拡大に果たす役割
武部 豊、今村裕子、草川 茂
(国立感染症研究所エイズ研究センター)

- 049 中国におけるエイズ流行の巨大危機とその形成メカニズム
武部 豊、馬 艶玲¹、楊 朝軍¹、今村裕子¹、横田侑子¹、上原理恵子¹、山室雅一¹、楊 栄閣¹、草川茂¹、Ben Kunlong²
(国立感染症研究所エイズ研究センター¹、中国科学院昆明動物学研究所²)

- 050 Sequence analysis of env region of HIV-1 in Brazil
柳生文宏、牛島廣治

(東京大学大学院医学系研究科発達医学科学教室)

(国立病院大阪医療センター免疫感染症科)

051 GENETIC DIVERSITY OF HIV IN WESTERN KENYA.

Lwembe Raphael¹, Songok Elijah¹, 小林かな², 喜多佳世子¹, Nicaise Ndembu¹, 景山誠二¹, 大石功³, 市村 宏¹
(金沢大学大学院医学系研究科¹, 金沢大学大学院自然科学研究科², JICA ケニア感染症研究対策プロジェクト³)

052 コンゴ共和国におけるピグミー族の HIV 保有状況

井戸栄治、竹村太地郎¹、武久 盾², Bikandou Blaise³, 秋山尚志¹, 池田幹雄⁴, Henri-Joseph Parra³, 市村 宏², 速水正憲¹
(京都大学ウイルス研究所・感染症モデル研究センター・霊長類モデル研究領域¹, 金沢大学大学院医学系研究科・ウイルス感染症制御学², コンゴ共和国国立公衆衛生研究所³, ㈱富士レビオ⁴)

053 横浜市内一拠点病院における HIV-1 の分子系統樹解析により見出された non-B, non-E (CRF01_AE) サブタイプ

鈴木健之、北村勝彦²、長縄 聰²、上田敦久¹、岳野光洋¹、白井 輝³、朽久保修²、石ヶ坪良明¹
(横浜市立大学医学部内科学第一講座¹, 横浜市立大学医学部公衆衛生学教室², 横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター難病医療センター³)

057 当院における AIDS 関連悪性リンパ腫の検討

上田晃弘、吉田邦仁子¹、田沼順子¹、矢崎博久¹、鈴木康弘¹、本田美和子¹、瀧永博之¹、照屋勝治¹、源河いくみ¹、立川夏夫¹、菊池 嘉¹、安岡 彰²、岡 慎一¹、木村 哲¹
(国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター¹, 富山医科薬科大学医学部²)

058 悪性リンパ腫のマーカーとしての EBV DNA 定量、カポジ肉腫のマーカーとしての HHV-8 DNA 定量

吉田 敦、家入蒼生夫¹、中村哲也²、味澤 篤³、岡 慎一⁴、木村 哲⁴
(獨協医科大学臨床検査医学¹, 東京大学医学研究所附属病院感染免疫内科², 東京都立駒込病院感染症科³, 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター⁴)

059 剖検にて特発性門脈圧亢進症の合併と考えられた AIDS リンパ腫の 1 例

小田原隆、小柳津直樹²、高部智哲³、遠藤宗臣¹、古賀一郎¹、中村仁美¹、中村哲也¹、岩本愛吉¹
(東京大学医学研究所附属病院感染免疫内科¹, 東京大学医学研究所附属病院検査部², 公立昭和病院血液内科³)

060 カポジ肉腫の治療と転帰に関する臨床的検討

今村顕史、菅沼明彦、味澤 篤、根岸昌功
(東京都立駒込病院感染症科)

061 胃癌を合併した AIDS 患者の治療経験

高田清式、長谷川均¹、安川正貴¹、藤田 繁¹、井門敬子²
(愛媛大学医学部第一内科¹, 愛媛大学医学部附属病院薬剤部²)

062 HIV 感染症に合併した白血病の 3 例

竹田純一、中村哲也、岩本愛吉
(東京大学医学研究所先端医療研究センター感染症分野)

■日時：11月27日（木）10：00～11：30

■会場：第 5 会場

9. 悪性腫瘍

座長 中村哲也（東京大学医学研究所）
佐藤 功（国立仙台病院）

054 メトトレキサート大量療法を含む化学療法が奏功した HIV 感染患者における原発性脳リンパ腫の一例

四本美保子、斎藤 博
(長野赤十字病院内科)

055 Primary Effusion Lymphoma を合併した末期 AIDS 患者の一例

水谷朋恵、彼谷裕康²、吉田 喬²
(金沢大学大学院 医学系研究科 細胞移植学¹、富山県立中央病院²)

056 右心房内腫瘍をきっかけに HIV 感染が明らかとなった一例

高濱宗一郎、谷岡理恵、上田千里、上平朝子、白阪琢磨

■日時：11月27日（木）9：00～10：20

■会場：第 6 会場

10. 疫学

座長 橋本修二（藤田保健衛生大学医学部）
木村博和（横浜市立大学医学部）

063 エイズ発生動向調査への報告 HIV 感染者数の

動向と未報告 HIV 感染者数の推計

橋本修二、川戸美由紀¹、市川誠一²、中村好一³、木村博和⁴

(藤田保健衛生大学医学部衛生学¹、名古屋市立大学大学院看護学研究科²、自治医科大学公衆衛生学³、横浜市立大学医学部公衆衛生学⁴)

064 男性同性愛者における HIV-1 と GBV-C 感染率及び GBV-C ジェノタイプの解析

服部純子、伊部史朗、永井裕美¹、和田かおる¹、森下高行²、佐藤克彦²、内海 眞¹、金田次弘¹

(国立名古屋病院 臨床研究センター¹、愛知県衛生研究所²)

065 当院受診患者における梅毒、B型肝炎、C型肝炎の状況 (2002年度)

後藤哲志、高田由紀子、阪上賀洋

(大阪市立総合医療センター)

066 HIV 感染症の疫学に関する研究 - 世界の AIDS の流行格差の要因の分析

島尾忠男、丸井英二²、鎌倉光宏³、石川信克⁴、沢崎康¹、橋本幹雄¹

(財団法人 エイズ予防財団¹、順天堂大学医学部公衆衛生学教室²、慶應義塾大学³、財結核予防会 結核研究所⁴)

067 ケニア、ナイロビにおける HIV と梅毒の抗体保有状況

森下高行、佐藤克彦¹、宮城島拓人²、内海 眞³、山本なおひこ⁴

(愛知県衛生研究所¹、釧路労災病院²、国立名古屋病院³、名古屋大学大学院医学研究科⁴)

068 フィリピンの HIV 感染拡大要因、HCV 感染集団の発見

景山誠二、市村 宏

(金沢大学医学系研究科ウイルス感染症制御分野)

069 カンボディアの新規結核患者における輸血関連ウイルスの陽性率

坂本優子、宮地峰輝²、香川孝司²、高浜洋一²、浜口行雄²、野内英樹³、田村深雪⁴、小野崎郁史⁵、吉原なみ子¹

(国立感染症研究所 エイズ研究センター¹、シスメックス(株) 開発本部²、財結核予防会結核研究所³、新潟大学医学部保健学科⁴、ちば県民保健予防財団⁵)

070 Determinants of vulnerability of migrant workers to get HIV/STIs: Destination, Knowledge, or others?

奥村順子、神馬征峰、若井 晋

(東京大学大学院医学系研究科)

■日時：11月27日 (木) 10:20~11:20

■会場：第6会場

11. 医療体制

座長 山本政弘 (国立病院九州医療センター 免疫感染症科)

塚田弘樹 (新潟大学大学院医歯学総合研究科)

071 北陸地方におけるエイズ医療体制の構築について

上田幹夫、河村洋一¹、舟田 久²、安岡 彰²、吉田喬³、和野雅治⁴、朝倉英策⁵、上田孝典⁶、今井由三代⁷、戸来依子¹、宮田 勝¹、山下郁江¹、山田三枝子¹、正兼亜季¹、辻 典子¹、青木 眞¹/8>

(石川県立中央病院 HIV 診療チーム¹、富山医科薬科大学感染予防医学²、富山県立中央病院内科³、金沢医科大学血液免疫内科⁴、金沢大学高密度無菌治療部⁵、福井医科大学第一内科⁶、北陸 HIV 情報センター⁷、サクラ精機(株)⁸)

072 地方拠点病院 (久留米大学病院) における HIV 感染者診療 (内科領域) の実情

田中 健、白石 香¹、城島浩人¹、深堀茂樹¹、藤松由起子¹、本田順一¹、相澤久道¹、佐川公矯²

(久留米大学医学部第一内科¹、久留米大学医学部臨床検査部²)

073 10年間のアンケート調査から見た長野県の HIV 医療の実態と問題点

斉藤 博、北野喜良¹、岡田邦彦²、柳川宗平³

(長野赤十字病院/長野県医師会エイズ等感染症対策委員会¹、国立松本病院/長野県医師会エイズ等感染症対策委員会²、厚生連佐久総合病院/長野県医師会エイズ等感染症対策委員会³、飯田市立病院/長野県医師会エイズ等感染症対策委員会⁴)

074 当センターにおける HIV/AIDS 患者の入院患者数の変遷

伊藤ひとみ、池田和子、山田由紀、小野瀬友子、岡慎一、木村 哲

(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

075 当院外来における土曜日受診患者の動向

鈴木祐見子、天野景裕²、山元泰之²、山中 晃²、西田恭治²、福武勝幸²

(東京医科大学病院看護部¹、東京医科大学病院臨床検査医学科²)

076 術前 HIV 抗体スクリーニング検査実施における問題点と対策

矢島悟子、小池順子、上林裕子、関澤真人、葛西俊二、馬込公子、谷田貝貞子、三浦琢磨

(芳賀赤十字病院 HIV 感染症研究会)

■日時：11月27日（木）15：40～16：40

■会場：第6会場

12. HIV の転写／複製

座長 増田貴夫（東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科）
藤田美歌子（徳島大学大学院医学研究科）

077 Silencing HIV-1 gene expression through double stranded RNA constructs targeting the NF- κ B binding site

鈴木一雄
(Saint Vincent's Hospital)

078 SHIV 感染アカゲザル個体における SHIV-LTR の in vivo メチル化解析

石田尚臣、濱野章子¹、伊吹謙太郎²、三浦智行²、速水正憲²、渡邊俊樹¹
(東京大学医科学研究所人癌病因遺伝子分野¹、京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領域²)

079 Gag p17 遺伝子変異による HIV-1 CRF01_AE 複製の制御

浜野隆一、岡本 尚²、野内英樹³、日比悠里名²、高橋なを子²、原 敬志¹、山本直樹¹、山崎修道¹、本多三男¹、松尾和浩¹
(国立感染症研究所エイズ研究センター¹、名古屋市立大学医学部²、結核予防会結核研究所³)

080 HIV cDNA の核内移行への Nup98 の関与

小柳義夫、蝦名博貴、青木 淳
(東北大学大学院医学系研究科微生物学分野)

081 HIV-1 CRF07_BC および CRF08_BC 感染性分子クローンの樹立とその性状の解析

草川 茂、楊 栄閣、武部 豊
(国立感染症研究所エイズ研究センター)

082 HIV-1 augmented interleukin (IL)-12p70 production but inhibited phenotypic maturation of LPS stimulated-dendritic cells

Eiji Shinya, Atsuko Owaki, Masumi Shimizu, Eri Watanabe, Misao Satomi, Chizuno Hidaka, Eiji Watari, Hidemi Takahashi
(Nippon Medical School, Dept of Microbiol. Immunol.)

■日時：11月27日（木）16：40～17：50

■会場：第6会場

13. 治療薬開発 2 /スクリーニングシステム

座長 杉浦 互（国立感染症研究所エイズ研究センター）
瀧永博之（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

083 ペンダント型亜鉛サイクレン錯体の HIV 増殖抑制作用機序に関する研究

山本直彦、伊部史朗²、和田かおる²、金田次弘²、内海 眞²、森下高行³、佐藤克彦³、大竹 徹⁴、森 治代⁴、川畑拓也⁴
(名古屋大学大学院医学研究科・国際保健医療学¹、国立名古屋病院・臨床研究センター²、愛知県衛生研究所・微生物部³、大阪府立公衆衛生研究所・感染症部⁴)

084 耐性ウイルスに活性を示す allophenylnorstatine 含有の新規 HIV プロテアーゼ阻害剤

木曾良明、阿見英一¹、木村 徹¹、林 良雄¹、日高興士¹、長井陽典¹、佐藤彰彦²、中原宏一郎²
(京都薬科大学 薬品化学教室¹、塩野義製薬 創薬研究所²)

085 Conjugate drugs: a novel approach to HIV-1 therapy

Sharad Mohan、河野武弘¹、後藤俊幸³、木曾良明²、佐野浩一¹
(大阪医科大学 微生物学教室¹、京都薬科大学 薬品化学教室²、京都大学医療技術短期大学部³)

086 抗 HIV-1 新規候補薬剤検索のための多検体処理可能なスクリーニングシステム構築

横幕能行、松田善衛²、千葉智子²、巖 馬華²、松田昌和²、杉浦 互²
(千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部¹、国立感染症研究所エイズ研究センター²)

087 GFP 発現を指標として HIV-1 感染を検出する細胞株の作製

大槻貴博、清水宣明¹、大上厚志¹、巽 正志²、星野洪郎¹
(群馬大学大学院医学系研究科分子予防医学¹、国立感染症研究所獣医科学部²)

088 プロテアーゼ阻害薬の細胞内停留濃度と抗レトロウイルス効果

田中理恵、加藤真吾
(慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室)

089 低濃度食塩水電気分解産物による HIV-1 消毒

効果について

河野武弘、森田智津子、佐野浩一
(大阪医科大学微生物学)

■日時：11月27日（木）9：00～10：10

■会場：第7会場

14. 日和見感染症

座長 安岡 彰（富山医科薬科大学感染症予防医学）
今村顕史（東京都立駒込病院感染症科）

090 新規に診断された HIV/AIDS 患者の予後、1999年から2002年の検討

立川夏夫、菊池 嘉、照屋勝治、源河いくみ、瀧永博之、本田美和子、鈴木康弘、矢崎博久、田沼順子、上田晃弘、吉田邦仁子、安岡 彰、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

091 HAART を受けている HIV 抗体陽性患者の予後と口腔病変の関連について、口腔カンジダ症に着目した臨床的研究

上川善昭、新田哲也、杉原一正
(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科顎顔面機能再建学講座顎顔面疾患制御学分野)

092 ミカファンギンナトリウム (MCFG) が著効した多発性真菌性肝膿瘍合併高齢者 AIDS の一例

泉山 康、橋野 聡¹、大野稔子²、太宰昌佳¹、守田玲菜¹、小野澤真弘¹、近藤 健¹、小林寿美子¹、浅香正博¹
(北海道大学医学部第三内科¹、北海道大学医学部附属病院看護部²)

093 HIV 感染者に合併した重症カリニ肺炎の治療に関する検討

北室知巳、服部俊夫¹、三木 祐²、菊池喜博²、佐藤功³、三浦元彦⁴
(東北大学医学部感染症呼吸器内科¹、国立仙台病院呼吸器科²、国立仙台病院内科³、東北労災病院呼吸器科⁴)

094 肺結核症合併の AIDS 患者10症例の臨床的検討

上田敦久、岳野光洋¹、鈴木健之¹、塩原輝久¹、白井輝²、安達理恵³、松山奈央³、小田みどり³、小幡敏枝³、石ヶ坪良明¹
(横浜市立大学医学部第一内科¹、付属市民総合医療センター病院²、医学部付属病院³)

095 当施設で経験した赤痢アメーバ症と HIV 感染症について

西村 裕、藤井輝久¹、高田 昇¹、木村昭郎²
(広島大学病院エイズ医療対策室¹、広島大学病院血液内科²)

096 当院における HIV 感染者に合併したクリプトスポリジウム症10例の臨床的検討

菅沼明彦、味澤 篤¹、今村顕史¹、根岸昌功¹、増田剛太²
(都立駒込病院感染症科¹、都立北療育医療センター²)

■日時：11月27日（木）10：10～11：30

■会場：第7会場

15. カウンセリング

座長 小島賢一（荻窪病院血液科）
山中京子（大阪府立大学社会福祉学部）

097 ブロック拠点病院におけるカウンセリングの実施状況：今後の方向性を考察する

矢永由里子、加瀬まさよ²、田上恭子³、島 典子⁴、菊池恵美子⁵、安尾利彦⁶、喜花伸子⁷
(国立病院九州医療センター・エイズ予防財団リサーチレジデント¹、北海道大学医学部附属病院²、国立仙台病院³、新潟大学医学部附属病院⁴、国立名古屋病院⁵、国立大阪病院⁶、広島大学医学部附属病院⁷)

098 東京都エイズ専門相談員における相談の現状分析について

谷津洋子、高田知恵子、神谷昌枝、吉田幸子、吉田容子、内野ナンティア、折井佳穂里、安藤純子、飯田真美、前田秀雄
(東京都健康局医療サービス部)

099 HIV 感染症の心理的援助に関する血液疾患との対比による研究～死に関する話題を中心に～

喜花伸子、木村昭郎²、高田 昇¹、兒玉憲一³、内野悌司⁴、河部康子¹
(広島大学医学部附属病院エイズ医療対策室¹、広島大学原爆放射線医科学研究所²、広島大学大学院教育学研究科心理学講座³、広島大学保健管理センター⁴)

100 近畿ブロック HIV カウンセリング研修会終了後のアンケート調査実施と今後の方向性

古金秀樹、安尾利彦²、織田幸子³、桑原 健⁴、白阪琢磨⁵
(国立病院 大阪医療センター 医事課¹、国立病院 大阪医療センター 臨床研究部²、国立病院 大阪

医療センター 看護部³、国立療養所宇多野病院
薬剤科⁴、国立病院 大阪医療センター 免疫感染
症科⁵)

101 感染判明による心理的インパクトからの回復 に関する一考察

古谷野淳子
(大阪市委託派遣カウンセラー)

102 自殺念慮および抗 HIV 薬開始への強い躊躇い を示した HIV 感染者とのカウンセリング過程 —「生きていてはいけない」から「生きるた めなら死んでもいい」への心の変容—

安尾利彦、白阪琢磨²、織田幸子³
(国立病院大阪医療センター臨床研究部¹、国立病院
大阪医療センター免疫感染症科²、国立病院大阪医
療センター看護部³)

103 HIV 感染者のカウンセリング利用経験に関す る研究 — 継続的利用者への面接調査よ り —

山中京子、児玉憲一²
(大阪府立大学社会福祉学部¹、広島大学大学院教育
学研究科²)

104 ピア・カウンセラーと専門カウンセラーの連 携に関する研究(2)

内野悌司、藤原良次²、椎村和義²、平岡 毅³、塚本
弥生⁴、藤井輝久⁵、藤井宝恵⁶、磯部典子¹
(広島大学保健管理センター¹、りょうちゃんず²、県
立広島病院³、社会保険広島市民病院⁴、広島大学医
学部附属病院⁵、広島大学医学部保健学科⁶)

美之⁵、森 一泰⁴
(感染研・筑波霊長類センター¹、三重大・医・生体
防御医学²、阪大微研・ウイルス感染制御³、感染
研・エイズ研究センター⁴、富山衛研⁵)

107 TNF- α 遺伝子組み込み SHIV 感染ザルにお ける細胞死と免疫応答

清水佑也、宮崎恭行²、鈴木 元²、伊吹謙太郎³、三
浦智行²、速水正憲²、芳賀 猛¹
(宮崎大学獣医微生物学¹、京都大学ウイルス研究
所²)

108 Genetic analysis of acute pathogenic and less pathogenic SHIV molecular clones to determine the responsive site for in vivo pathogenicity

louri Kozyrev、阪井弘治²、高橋栄治²、篠原克明²、
鈴木 元¹、伊吹謙太郎¹、速水正憲¹、三浦智行¹
(京都大学ウイルス研究所感染症モデル研究セン
ター¹、国立感染症研究所²)

109 INCREASED VIRUS REPLICATION AND CYTOTOXICITY OF NON-PATHOGENIC SHIV-NM-3rN AFTER SERIAL PASSGE ON MONKEY DERIVED CELL LINE

Theophilus B. Kwofie、速水正憲、三浦智行
(京都大学ウイルス研究所感染症モデル研究セン
ター)

110 サルの SHIV 感染に対する IL-15投与効果の解 析

石松美沙、井戸栄治、秋山尚志、三浦智之、伊吹謙
太郎、速水正憲
(京都大学ウイルス研究所感染症モデル研究セン
ター)

■日時：11月28日（金）9：00～10：00

■会場：第1会場

16. ワクチン I

座長 俣野哲朗（東京大学大学院医学系研究科）
仲宗根正（国立感染症研究所エイズ研究
センター）

105 SIV/SHIV 接種ザルにおける NKT 細胞の動 態解析に向けて：サル CD1d 分子の解析と発 現

齊藤尚紀、高橋めぐみ²、赤畑 渉¹、清水真澄²、日
高千鶴乃²、新谷英滋²、伊吹謙太郎¹、三浦智行¹、速
水正憲¹、高橋秀実^{1,2}
(京都大学ウイルス研究所¹、日本医科大学微生物免
疫²)

106 糖鎖欠失 SIV の新規 attenuated virus とし ての性質

杉本智恵、保富康宏²、塩田達雄³、山本直樹⁴、永井

■日時：11月28日（金）10：00～11：10

■会場：第1会場

17. ワクチン II

座長 森 一泰（国立感染症研究所エイズ
研究センター）
馬場昌範（鹿児島大学医学部）

111 Env エイズワクチンにおける糖鎖の重要性

森 一泰、杉本智恵¹、中山英美²、塩田達雄²、早川
茂¹、武部 豊¹、保富康宏³、永井美之⁴
(国立感染症研究所¹、阪大微研・ウイルス感染制
御²、三重大・医・生体防御医学³、富山県衛生研究
所⁴)

112 リコンビナント DIs ワクチンの経粘膜接種へ

の応用

吉野 直人、兼清 優¹、染谷健二¹、松尾和浩¹、網康至²、佐藤成大³、山本直樹¹、本多三男¹
(国立感染症研究所エイズ研究センター¹、国立感染症研究所動物管理室²、岩手医科大学医学部³)

- 113 Chitin micro-particles (CMP) は DNA ワクチンに対して効果的アジュバント活性を示す
浜島健治、忻 克勤、松井清秀、篠田香織、奥田研爾
(横浜市立大学医学部細菌学)

- 114 免疫グロブリン Fc 融合抗原を発現する DNA ワクチンにおける免疫誘導能の検討
忻 克勤、浜島健治、奥田研爾
(横浜市立大学医学部細菌学講座)

- 115 CCR5及び CXCR4を mimic した環状キメラ抗原を免疫したカニクイザルの抗血清による Cross-clade R5及び X4 HIV-1感染阻害効果
中山大介、三隅将吾¹、向井鏡三郎²、橘 園臣³、梅田 衛³、本田徹朗³、高宗暢暁¹、庄司省三¹
(熊大院 医薬 薬学生化学¹、国立感染研・筑波²、日水製薬³)

- 116 CXCR4を基礎にした新規ペプチド免疫戦略とその HIV-1感染防御効果
遠藤昌史、稲津麻子¹、三隅将吾¹、向井鏡三郎²、橘園臣³、梅田 衛³、本田徹朗³、高宗暢暁¹、庄司省三¹
(熊大院 医薬 薬学生化学¹、国立感染研 筑波²、日水製薬³)

- 117 Chemokine receptor CCR5の細胞外第2ループ (ECL-2) 特異的認識自己抗体による種々の HIV-1に対する感染防止効果
草場正司、三隅将吾¹、向井鏡三郎²、橘 園臣³、梅田 衛³、本田徹朗³、高宗暢暁¹、庄司省三¹
(熊本大学大学院 医学薬学研究部 薬学生化学¹、国立感染研・筑波²、日水製薬³)

■日時：11月28日 (金) 9：00～9：40

■会場：第2会場

18. 診断

座長 照屋勝治 (国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

- 118 当科で経験した HIV 急性感染13例の臨床経過
萩野 昇、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤、根岸昌功
(東京都立駒込病院感染症科)

- 119 当院における急性 HIV 感染 4 症例の臨床的検討

足立拓也、相楽裕子¹、宇宿秀三²、野口有三²、近藤真規子³、今井光信³
(横浜市立市民病院感染症部¹、横浜市衛生研究所²、神奈川県衛生研究所³)

- 120 HIV 感染後 2 ヶ月で AIDS を発症した一症例
富田滋久、山口正純、齋藤淑子、三橋和則、内藤俊夫、関谷 栄、磯沼 弘、渡辺一功、檀原 高、林田康男
(順天堂大学医学部総合診療科)

- 121 無菌性髄膜炎の経過中に末梢性顔面神経麻痺を伴った急性レトロウィルス症候群の一例
池谷 健
(藤枝市立総合病院)

■日時：11月28日 (金) 9：00～9：50

■会場：第3会場

19. HIV の感染機構 I

座長 高折晃史 (京都大学大学院医学研究科)

- 122 細胞膜流動性の亢進による HIV-1感染の増強
原田信志、前田洋助、遊佐敬介
(熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御学)

- 123 R5X4 HIV の CXCR4アンタゴニスト感受性の検討
前田洋助、遊佐敬介、原田信志
(熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御学分野)

- 124 抗 V3ループ抗体による Biotin-V3-BH10の細胞膜結合抑制効果
凌 虹、肖 鵬、宇佐美修、服部俊夫
(東北大学 医学部 感染病態学分野；Department of Microbiology, Harbin Medical University, China)

- 125 ヒトモノクローナル抗体 KD-247における中和メカニズム
滝澤万里、村上利夫²、江田康幸²、前田敏宏²、本多三男³
(国立感染症研究所 エイズ研究センター H.S 財¹、化学及血清療法研究所²、国立感染症研究所エイズ研究センター³)

- 126 高いシンシチウム形成能を規定する Env 領域の同定
木ノ本正信、向井 徹⁴、李 永剛²、辻祥太郎²、徳永研三³、佐多徹太郎³、後藤俊幸⁵、生田和良²
(大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野・国立)

感染症研究所感染病理部¹、大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野²、国立感染症研究所感染病理部³、国立感染症研究所 ハンセン病研究センター⁴、京都大学医療技術短期大学部⁵)

■日時：11月28日（金） 9：00～10：10

■会場：第4会場

20. 看護

座長 織田幸子（国立病院大阪医療センター
看護部）

有馬美奈（東京都立駒込病院看護部）

127 病棟における HIV コーディネーターナースの活用

幸 史子、木村眞知子²

（熊本大学医学部附属病院 西病棟11階¹、同 看護外来²）

128 HIV 関連悪性リンパ腫の化学療法と抗 HIV 薬による便秘についての一考察

坂牧由美、有馬美奈

（都立駒込病院）

129 免疫再構築症候群における看護介入の検討

伊藤ひとみ、武田明子、村岡稚子

（国立国際医療センター）

130 HIV/AIDS 患者の長期入院理由の分析と退院調整の課題

山田由紀、伊藤ひとみ、池田和子、大金美和、伊藤将子、武田謙治、福山由美、渡辺 恵、岡 慎一、木村 哲

（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

131 抗 HIV 薬の副作用による下肢の運動機能障害を残した患者への在宅生活に至る療養支援体制とその課題

大野稔子、渡部恵子¹、徳本栄子¹、川口洋子¹、加瀬まさよ²、高田いづみ³

（北海道大学医学部附属病院¹、北海道大学医学部附属病院²、北海道大学医学部附属病院³、北海道大学医学部附属病院⁴、北海道カウンセラー⁵、北海道 MSW⁶）

132 HIV 感染者の在宅診療を進めるにあたって～3 事例の振り返りを通して～

田中千代子、有馬美奈

（都立駒込病院）

133 結核合併 HIV/AIDS 患者の療養継続支援の

検討

福山由美、山田由紀、武田謙治、中野恵美子、伊藤将子、大金美和、池田和子、渡辺 恵、岡 慎一、木村 哲

（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

■日時：11月28日（金） 10：10～11：10

■会場：第4会場

21. アクセサリー遺伝子

座長 小糸 厚（熊本大学エイズ学研究センター）
山岡昇司（東京医科歯科大学ウイルス制御学）

134 CEM15/Apobec-3G の酵素活性は HIV-1 の感染性制御に必須である。

新堂啓祐、高折晃史、小林正行、内山 卓

（京都大学医学研究科血液・腫瘍内科）

135 CEM15/Apobec3G の murine homologue による抗 HIV-1 活性の検討

小林正行、高折晃史、新堂啓祐、内山 卓

（京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科）

136 HIV-1 Vif は、CEM15/Apobec-3G 以外の経路によって、MLV の感染性を増強する。

高折晃史、新堂啓祐、小林正行、内山 卓

（京都大学医学研究科血液・腫瘍内科）

137 HIV-1 標的細胞において importin α により促進される Vpr 核移行の解析

笠原（仁田原）優子、宗田光峰¹、飯島沙幸¹、横田恭子²、間 陽子¹

（理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット¹、国立感染症研究所免疫部²）

138 ウイルス増殖における HIV-1 Vpr の機能解析

飯島沙幸、木全清典¹、横田恭子²、三輪正直³、間陽子¹

（理化学研究所 分子ウイルス学研究ユニット¹、国立感染症研究所免疫部²、筑波大学基礎医学系³）

139 HIV-1 Nef の融合、進入過程における影響

飛梅 実、高橋秀宗¹、徳永研三¹、佐多徹太郎¹、Aiken Chris²、Miller Michael³

（国立感染症研究所感染病理¹、vanderbilt university, TN, US²、Merk, US³）

■日時：11月28日（金） 9：00～9：40

■会場：第5会場

22. HIV 感染の病態解析

座長 吉村和久（熊本大学エイズ学研究センター）

- 140 エイズ脳症で起こる神経細胞死には TRAIL が関与する
三浦義治、水澤英洋¹、小柳義夫²
（東京医科歯科大学脳神経機能病態学¹、東北大学医学部生体防御学講座微生物学分野²）
- 141 Proviral DNA (pDNA) and Turnover Levels in HIV-1-Positive Long-Term Non-Progressors (LTNPs)
吉村和久、木村哲也、松下修三
（熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野）
- 142 エイズ長期未発症から発症にいたる際のウイルス産生動態
とう学文、照沼 裕¹、山下篤哉¹、葛西宏威¹、加藤真吾²、斉藤有紀²、小田原史知³、高嶋能文⁴、花房秀次⁵、酒井道生⁶、白幡 聡⁸、藤井輝久⁶、石川正明⁷、岡 慎一⁹、高橋義博¹⁰、池田柁一¹¹、三浦琢磨¹²、松田重三¹³、伊藤正彦¹、三間屋純一⁴
（山梨大学¹、慶応大²、旭化成³、静岡こども病院⁴、荻窪病院⁵、広島大⁶、東北大⁷、産業医大⁸、国際医療センター⁹、大館市立病院¹⁰、佐世保市立病院¹¹、芳賀赤十字病院¹²、帝京大¹³）
- 143 hu-PBL-SCID マウス個体での X4 HIV-1 の viremia 誘導
田中勇悦、吉田篤司¹、田中礼子¹、村上 努¹、山本直樹²
（琉球大学・医学部・地域環境医科学講座・免疫学分野¹、東京医科歯科大学・大学院・ウイルス制御²）

■日時：11月28日（金） 9：40～11：20

■会場：第5会場

23. 母子感染

座長 後藤哲志（大阪市立総合医療センター
感染症センター）

塚原優己（国立成育医療センター
周産期診療部）

- 144 わが国における HIV 母子感染の現状(1) 全国小児科施設への調査結果
外川正生、大場 悟²、葛西健郎²、井村総一²、塚原優己²、喜多恒和²、稲葉淳一²、北村勝彦²、高野政志²、谷口晴記²、長縄 聡²、林 公一²、蓮尾泰之²、箕浦茂樹²、和田裕一²、吉野直人²、戸谷良造²、稲葉憲之²

（大阪市立総合医療センター小児内科¹、平成14年度厚労省エイズ対策事業・分担研究「HIV 母子感染予防の臨床的研究」班、平成15年度厚労省エイズ対策事業・「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する基礎的・臨床的研究」班²）

- 145 わが国における HIV 母子感染の現状(2) 全国産婦人科施設への調査結果
和田裕一、喜多恒和²、稲葉淳一²、井村総一²、大場悟²、葛西健郎²、北村勝彦²、高野政志²、谷口晴記²、塚原優己²、外川正生²、長縄 聡²、林 公一²、早川智²、蓮尾泰之²、箕浦茂樹²、吉野直人²、戸谷良造²、稲葉憲之²
（国立仙台病院産婦人科¹、平成14年度厚労省エイズ対策事業・分担研究「HIV 母子感染予防の臨床的研究」班、平成15年度厚労省エイズ対策事業・「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する基礎的・臨床的研究」班²）
- 146 わが国における HIV 母子感染の現状(3) HIV 感染妊婦の動向と将来予測
塚原優己、喜多恒和²、稲葉淳一²、井村総一²、大場悟²、葛西健郎²、北村勝彦²、高野政志²、谷口晴記²、外川正生²、長縄 聡²、林 公一²、蓮尾泰之²、早川智²、箕浦茂樹²、和田裕一²、吉野直人²、戸谷良造²、稲葉憲之²
（国立成育医療センター周産期診療部産科¹、平成14年度厚労省エイズ対策事業・分担研究「HIV 母子感染予防の臨床的研究」班、平成15年度厚労省エイズ対策事業・「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する基礎的・臨床的研究」班²）
- 147 わが国における HIV 母子感染の現状(4) 妊婦 HIV 抗体検査実施率の推移
林 公一、喜多恒和²、稲葉純一²、井村総一²、大場悟²、葛西健郎²、北村勝彦²、高野政志²、谷口晴記²、外川正生²、長縄 聡²、塚原優己²、蓮尾泰之²、箕浦茂樹²、和田裕一²、吉野直人²、戸谷良造²、稲葉憲之²
（国立下関病院産婦人科¹、平成14年度厚労省エイズ対策事業・分担研究「HIV 母子感染予防の臨床的研究」班、平成15年度厚労省エイズ対策事業・「HIV 感染妊婦の早期診断と治療及び母子感染予防に関する基礎的・臨床的研究」班²）
- 148 HIV 除去精子を用いた体外受精の臨床成績と今後の課題
花房秀次、加藤真吾²、兼子 智³、鈴木美奈⁴、高桑好一⁴、久慈直昭⁵、吉村泰典⁵、神野正雄⁶、岩下光利⁶、田中憲一³
（荻窪病院血液科¹、慶應義塾大学微生物²、東京歯科大学市川病院産婦人科³、新潟大学産婦人科⁴、慶應義塾大学産婦人科⁵、杏林大学産婦人科⁶）

- 149 当院における HIV 感染者の出産 2 症例
後藤哲志、高田由紀子、阪上賀洋
(大阪市立総合医療センター)
- 150 双胎妊娠で HAART 療法を受け出産した事例の看護について
佐藤みはる
(札幌医科大学医学部附属病院)
- 151 HIV 感染妊婦の出産における薬剤師の役割
井門敬子、安川正貴²、山本博之³、高田清式²
(愛媛大学医学部附属病院薬剤部¹、愛媛大学医学部第一内科²、聖カタリナ女子大学社会福祉学部³)
- 152 ヒト母乳中マクロファージを介した HIV 感染伝播メカニズムの解明へ向けて
里見操緒、清水真澄¹、市川雅男²、新谷英滋¹、竹下俊行²、高橋秀実¹
(日本医科大学微生物免疫学教室¹、日本医科大学付属病院女性診療科²)
- 153 子宮内 HIV 母子感染の危険因子 — 細菌性膣症／絨毛膜羊膜炎
若杉なおみ、金山尚裕²、西山綾子¹、Kasolo Francis³、御手洗聡⁴、市山浩二⁵、Kaseba Christine³
(国立国際医療センター研究所¹、浜松医科大学産婦人科²、University Teaching Hospital Zambia³、結核予防会研究所⁴、JICA⁵)

■日時：11月28日（金）9：00～10：00

■会場：第6会場

24. 免疫再構築症候群

座長 有馬靖佳（大阪赤十字病院内科）
上田千里（国立病院大阪医療センター
免疫感染症科）

- 154 当院における免疫再構築症例についての検討
上平朝子、吉野宗広²、高濱宗一郎¹、森 正彦¹、谷岡理恵¹、長谷川善一¹、下司有加³、織田幸子³、上田千里¹、白阪琢磨¹
(国立病院大阪医療センター 免疫感染症科¹、国立病院大阪医療センター 薬剤科²、国立病院大阪医療センター 看護部³)
- 155 MAC 感染に関連した免疫再構築症候群に対して中等量ステロイドが著効した一例
青木明希、有馬靖佳²
(大阪赤十字病院 内科、精神科¹、大阪赤十字病院内科²)
- 156 HAART 施行中に甲状腺機能亢進症が顕在化

した一例

西堀武明、塚田弘樹¹、岡本幸子²、内山正子²、下条文武¹

(新潟大学大学院医歯学総合研究科・臨床感染制御学分野（第二内科）¹、新潟大学医学部附属病院感染管理部²)

157 HAART 開始後に複数の自己免疫疾患を発症した HIV 陽性血友病 B の一症例

常見 幸、徳川多津子¹、澤田暁宏¹、長谷川善一²、角田ちぬよ¹、丸茂幹雄¹、日笠 聡¹、末廣 謙³、難波光義⁴、垣下榮三¹

(兵庫医科大学総合内科 血栓止血・老年病科¹、国立病院大阪医療センター 免疫感染症科²、凸版グループ健康保険組合大阪診療所³、兵庫医科大学総合内科 糖尿病科⁴)

158 HAART 時代のカポジ肉腫症例の検討

源河いくみ、上田晃弘¹、吉田邦仁子¹、鈴木康弘¹、田沼順子¹、矢崎博久¹、本田美和子¹、瀧永博之¹、照屋勝治¹、立川夏夫¹、安岡 彰²、菊池 嘉¹、岡 慎一¹、木村 哲¹

(国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター¹、富山医科薬科大学 感染予防医学²)

159 カリニ肺炎治療後の HAART 開始時期と免疫再構築症候群の発生頻度に関する検討

照屋勝治、上田晃弘¹、吉田邦仁子¹、田沼順子¹、矢崎博久¹、鈴木康弘¹、本田美和子¹、瀧永博之¹、源河いくみ¹、立川夏夫¹、菊池 嘉¹、安岡 彰²、岡 慎一¹、木村 哲¹

(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター¹、富山医科薬科大学 感染予防医学²)

■日時：11月28日（金）10：00～11：20

■会場：第6会場

25. 合併症

座長 松下修三（熊本大学エイズ学研究センター）
味澤 篤（東京都立駒込病院感染症科）

- 160 統合失調症様症状で発症した HIV 脳症の一例
橋本陶子、藤本勝也、遠藤知之、小池隆夫
(北海道大学大学院医学研究科病態内科学講座（第二内科）)
- 161 急激な HIV 脳症の悪化を来し HAART により改善を見た一例
榮 達智、江藤健一郎²、松下修三³、満屋裕明²
(熊本大学医学部附属病院血液内科¹、熊本大学医学部附属病院感染免疫診療部²、熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野³)

162 HAART 開始後に血球貪食症候群を発症した AIDS の一例

采田志麻、工藤博徳¹、江藤健一郎²、松下修三³、満屋裕明²

(熊本大学医学部血液内科¹、熊本大学医学部感染免疫診療部²、熊本大学医学部エイズ学研究センター病体制御分野³)

163 エイズ関連食道病変に対する食道ステントの合併症

渡辺佐和子、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤、根岸昌功

(東京都立駒込病院)

164 抗 HIV 薬の投与と中止により尋常性乾癬が寛解増悪を認めた一症例

内田泰斗、守谷研二¹、周 明志¹、天野景裕¹、斎藤万寿吉²、加藤雪彦²、梅沢慶紀³、大井綱郎²、福武勝幸¹

(東京医科大学病院 臨床検査医学科¹、東京医科大学病院 皮膚科²、東海大学医学部医学部医学科 感覚学系皮膚科³)

165 Central pontine myelinolysis を認めた HIV 感染症の一例

谷岡理恵、上平朝子、森 正彦、長谷川善一、上田千里、白阪琢磨

(国立病院 大阪医療センター 免疫感染症科)

166 HIV 感染者における予後と血清 IgE との関連について

善本英一郎、古西 満、宇野健司、高橋 賢、三笠桂一

(奈良県立医科大学第 2 内科)

167 HIV 感染者における子宮頸部異形成とヒトパピローマウイルス (HPV)

服部里佳、永松あかり¹、五味淵秀人¹、箕浦茂樹¹、菊池 嘉²、源河いくみ²、立川夏夫²、照屋勝治²、岡慎一²、木村 哲²、瀧永博之²、本田美和子²

(国立国際医療センター¹、国立国際医療センター エイズ治療開発センター²)

も子⁵

(東京都多摩立川保健所¹、東京都多摩川保健所²、東京都健康局医療サービス部感染症対策課³、東京都南新宿検査・相談室⁴、国立保健医療科学院⁵)

169 東京都南新宿検査・相談室における HIV 抗体検査複数回受検者の特性 第二報

池田英二、嶋崎江美¹、前田秀雄³、山口 剛⁴、橘とも子⁵

(東京都多摩川保健所¹、東京都多摩立川保健所²、東京都健康局医療サービス部感染症対策課³、東京都南新宿検査・相談室⁴、国立保健医療科学院⁵)

170 東京都南新宿検査・相談室における HIV 抗体検査受診者の実態 (1993-2002年)

橘とも子、谷畑健生²、市川誠一³、前田秀雄⁴、山口剛⁵

(国立保健医療科学院人材育成部¹、国立保健医療科学院疫学部²、名古屋市立大学大学院看護学研究科³、東京都健康局医療サービス部感染症対策課⁴、東京都南新宿検査・相談室⁵)

171 同性愛者を対象とした名古屋での HIV 抗体検査会

内海 眞、濱口元洋¹、菊池恵美子¹、市川誠一²、五島真里為³、河村昌伸⁴

(国立名古屋病院¹、名古屋市立大学²、HIV と人権・情報センター³、Angel Life Nagoya⁴)

172 HIV 抗体検査における「検査ガイダンス導入」の評価

市川誠一、嶋崎江美²、山口 剛³、前田秀雄⁴

(名古屋市立大学¹、東京都多摩立川保健所²、東京都南新宿検査・相談室³、前東京都健康局医療サービス部感染症対策課⁴)

173 HIV 検査の普及のための試み — 保健所検査への即日検査の導入 —

嶋 貴子、近藤真規子¹、一色ミユキ²、塚田三夫²、潮見重毅²、今井光信¹

(神奈川県衛生研究所微生物部¹、栃木県南健康福祉センター²)

174 保健所における性感染症検査の導入による効果

中瀬克己、松本誠子

(岡山市保健所)

175 若年女性層における性行為感染症を疑った際の受診行動とその関連要因

長宗典代、柴辻里香²、犬飼昌子¹、安酸史子³、中瀬克己⁴

(岡山大学医学部保健学科¹、滋賀県立大学 人間看護学部²、福岡県立大学 看護学部³、岡山市保健

■日時：11月28日 (金) 15:40~17:00

■会場：第 6 会場

26. 検査・受検行動

座長 橘とも子 (国立保健医療科学院人材育成部)
古谷野淳子 (大阪府健康福祉部)

168 東京都南新宿検査・相談室における HIV 抗体検査複数回受検者の特性 第一報

嶋崎江美、池田英二²、前田秀雄³、山口 剛⁴、橘と

所⁴⁾

■日時：11月29日（土） 9：00～10：10

■会場：第1会場

27. 薬剤耐性

座長 大竹 徹（大阪府立公衆衛生研究所）
西澤雅子（国立感染症研究所エイズ
研究センター）

- 176 HAART 下で良好な経過中、梅毒発症とともに高 HIV 血症を呈した症例
古賀一郎、小田原隆¹、細谷紀章¹、後藤美江子¹、中村哲也²、松田昌和³、杉浦 亙³、岩本愛吉¹
（東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野¹、東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科²、国立感染症研究所エイズ研究センター³）
- 177 血漿 HIV-1 RNA 及び末梢白血球 HIV-1 DNA で検出される薬剤耐性変異の比較
堀田直恵、伊部史朗、金田次弘
（国立名古屋病院臨床研究センター）
- 178 Peptide fusion inhibitor C34 に対する耐性機序の解析
児玉栄一、大高 章²、藤井信孝²、松岡雅雄¹
（京都大学ウイルス研究所¹、京都大学大学院薬学研究科²）
- 179 相同組み換えを用いた CRF01_AE 薬剤感受性の解析
松田昌和、千葉智子¹、佐藤裕徳²、巖 馬華¹、Lay Myint¹、柿沢淳子¹、濱武牧子¹、植田知幸¹、西澤雅子¹、杉浦 亙¹
（国立感染症研究所エイズ研究センター¹、国立感染症研究所遺伝子解析室²）
- 180 CRF01_AE 感染症例に見出された新たな薬剤耐性獲得機序
植田知幸、有吉紅也、三浦秀佳、松田昌和、千葉智子、巖 ■、Myint Lay、柿沢淳子、濱武牧子、西澤雅子、杉浦 亙
（国立感染症研究所エイズ研究センター）
- 181 NFV 存在下で感染効率亢進を示す高度薬剤耐性臨床分離株の解析
松岡佐織、蜂谷敦子、瀧永博之、岡 慎一、木村哲
（国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター）
- 182 HIV-1 逆転写酵素の核酸選択性制御と薬剤耐

性の機構

横山 勝、富田宏美、佐藤裕徳
（国立感染症研究所遺伝子解析室）

■日時11月29日（土） 10：10～11：30

■会場：第1会場

28. 肝炎

座長 日笠 聡（兵庫医科大学血栓止血・老年病科）
菊池 嘉（国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター）

- 183 HIV/HCV 重複感染血液凝固異常症の C 型肝炎の現況
瀧 正志、立浪 忍²、大井千愛¹、三間屋純一³、白幡 聡⁴、山田兼雄⁵
（聖マリアンナ医科大学小児科¹、聖マリアンナ医科大学医学統計²、静岡こども病院血液腫瘍科³、産業医科大学小児科⁴、エイズ予防財団⁵）
- 184 HIV 陽性 C 型肝炎血友病患者に対するインターフェロン $\alpha-2b$ とリバビリン併用療法の安全性と有効性（厚生労働省エイズ治療薬研究班治療研究）
山中 晃、青木 眞²、味澤 篤³、岡 慎一⁴、木村哲⁴、白阪琢磨⁵、高田 昇⁶、花房秀次⁷、三間屋純一⁸、佐々木昭仁¹、永泉圭子¹、山元泰之¹、西田恭治¹、福武勝幸¹
（東京医科大学医学部臨床検査医学講座¹、順天堂大学医学部細菌学²、東京都立駒込病院感染症科³、国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター⁴、国立大阪病院総合内科⁵、広島大学医学部輸血部⁶、荻窪病院血液科⁷、静岡県立こども病院血液腫瘍科⁸）
- 185 HIV/HCV 共感染血友病患者に対する PEG インターフェロン $\alpha-2b$ とリバビリン併用療法の中間経過報告（厚生労働省エイズ治療薬研究班治療研究）
山中 晃、萩原 剛¹、青木 眞²、味澤 篤³、岡 慎一⁴、木村 哲⁴、白阪琢磨⁵、高田 昇⁶、花房秀次⁷、三間屋純一⁸、山元泰之¹、西田恭治¹、永泉圭子¹、佐々木昭仁¹、福武勝幸¹
（東京医科大学医学部臨床検査医学講座¹、順天堂大学医学部細菌学²、東京都立駒込病院感染症科³、国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター⁴、国立大阪病院総合内科⁵、広島大学医学部輸血部⁶、荻窪病院血液科⁷、静岡県立こども病院血液腫瘍科⁸）
- 186 Effect of HIV/HCV Co-infection on HIV Disease Progression
蔣 岩
（中国疾病予防控制中心）

- 187 HIV 感染症患者における G 型肝炎ウイルス重複感染の影響
上田千里、木本美和、上平朝子、森 雅彦、谷岡理恵、白阪琢磨
(国立病院大阪医療センター免疫感染症科)
- 188 d4T/ddI・リバビリンの使用で急性膀胱炎を発生した HIV 症例
佐々木昭仁、西田恭治、尾形享一、加藤宏基、周明志、福武勝幸
(東京医科大学病院臨床検査医学講座)
- 189 難治性腹水、再発性食道静脈瘤に対し経静脈的肝内門脈肝静脈短絡術が奏功した HIV/HCV 重複感染肝硬変合併血友病 B の 1 症例
澤田暁宏、末廣 謙²、徳川多津子¹、常見 幸¹、長谷川善一³、角田ちぬよ¹、丸茂幹雄¹、日笠 聡¹、垣下榮三¹
(兵庫医科大学総合内科血栓止血・老年病科¹、トッパングループ健康保険組合大阪診療所²、国立病院大阪医療センター免疫感染症科³)
- 190 HAART + ステロイド開始により速やかに臨床症状が改善した急性 HIV、HBV 重複感染の 1 例
大石 毅、高橋一郎¹、溝上裕士²、三浦崇幣²、福江英尚¹
(東京医科大学霞ヶ浦病院 感染症科¹、東京医科大学霞ヶ浦病院 第 5 内科²)
- 193 HIV 感染者における Th1、Th2、CD4⁺CD25⁺ 制御性 T 細胞の解析
常見 幸、日笠 聡¹、木本美和²、白阪琢磨²、垣下榮三¹
(兵庫医科大学総合内科 血栓止血・老年病科¹、国立病院大阪医療センター 免疫感染症科²)
- 194 HIV-V3 (P18) 特異的 CTL-TCR 発現トランスジェニックマウスを用いたウイルス感染防御能の解析
栗林秀樹、若林あや子¹、清水真澄¹、金子礼志²、野呂瀬嘉彦¹、中川洋子¹、Jian Wang³、熊谷善博¹、David H Margulies³、高橋秀実¹
(日本医科大学微生物学免疫学教室¹、日本医科大学リウマチ科²、Molecular Biology Section, Laboratory of Immunology, NIAID, NIH³)
- 195 ヒト樹状細胞への遺伝子導入効率の検討：センダイウイルスベクターとアデノウイルスベクターの比較
細谷紀彰、三浦聡之¹、立川 (川名) 愛¹、塩田達雄³、小田原隆¹、中村哲也²、北村義浩¹、狩野宗英⁴、加藤 篤⁵、弘中孝史⁶、長谷川護⁶、永井美之⁷、岩本愛吉¹
(東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野¹、東京大学医科学研究所感染免疫内科²、大阪大学微生物病研究所免疫生態防御研究部門ウイルス感染制御分野³、University of Pittsburgh Development Center⁴、国立感染症研究所⁵、ディナベック研究所⁶、富山衛生研究所⁷)

■日時：11月29日 (土) 9:00~10:00

■会場：第 2 会場

29. 免疫 I

座長 神奈木真理 (東京医科歯科大学医学部)
上野貴将 (熊本大学エイズ学研究センター)

- 191 HLA-A * 2601 に提示される HIV-1 CD8 T 細胞のエピトープ同定
佐藤愛美、高宮裕児¹、岡 慎一²、滝口雅文¹
(熊本大学 エイズ学研究センター ウイルス制御¹、国立国際医療センター・エイズ治療 研究開発センター²)
- 192 変異エピトープを提示する MHC クラス I テトラマーを用いた HIV-1 特異的 CD8T 細胞の解析
立川 (川名) 愛、澤田大志¹、富澤麻利子¹、古月妙¹、細谷紀彰¹、小田原隆¹、中村哲也¹、岩本愛吉¹
(東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野¹、東海大学工学部²)

- 196 Reversible suppression of HIV-1-replication by CD8+ cytotoxic T lymphocytes by antigen-nonspecific mechanisms

Liu Huining、Ohashi たかし、Kubo Makoto、Zhou Xin、Masuda Takao、Kannagi Mari
(Department of Immunotherapeutics, Tokyo Medical and Dental University Graduate School)

■日時：11月29日 (土) 10:00~10:50

■会場：第 2 会場

30. 免疫 II

座長 堀 利行 (京都大学大学院医学研究科)

- 197 HIV エンベロープ C3 変異による抗 HIV 中和抗体からの逃避
木村哲也、吉村和久、祁内 梓、小糸 厚、松下修三
(熊本大学エイズ学研究センター 病態制御分野)
- 198 HIV Tat-Nef 融合タンパクを用いた細胞性・

液性免疫の誘導

祁内 梓、木村哲也、吉村和久、小糸 厚、松下修三
(熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野)

199 Suppression of HIV-1 replication mediated through ICOS and CD28 in CD4+ T lymphocytes

Zhou Xin、Kubo Makoto¹、Emori Yutaka¹、Ikeda Tamako¹、Nishitsuji Hironori¹、Kurihara Kiyoshi¹、Ohashi Takashi¹、Azuma Miyuki²、Masuda Takao¹、Kannagi Mari¹
(Department of Immunotherapeutics, Tokyo Medical and Dental University Graduate School¹、Department of Molecular Immunology, Tokyo Medical and Dental University Graduate School²)

200 脱核後 HIV-1ウィルス外殻は長期間末梢血静止 CD4+T 細胞表面に遺残するため、感染静止細胞は液性免疫の攻撃を受ける。

鈴木康弘、瀧永博之、立川 夫、菊池 嘉、照屋勝治、源河いくみ、本田美和子、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

201 HIV V3エピトープを分子内提示した人工タンパク質の示す強い免疫誘導現象

中村真理子、芝 清隆²、大野典也¹
(東京慈恵会医科大学微生物学講座第 1¹、癌研究会癌研究所蛋白質創製研究部 CREST/JST²)

204 治療経過中に女性化乳房を認めた HIV 感染症の 1 例

宇野健司、古西 満、善本英一郎、高橋 賢、三笠桂一
(奈良県立医科大学第 2 内科)

205 中枢神経障害と末梢の神経・筋障害を呈した AIDS の一症例

伊藤俊広、佐藤 功¹、鈴木博義²
(国立仙台病院内科¹、国立仙台病院病理²)

206 HAART 治療中に見られた高尿酸血症の臨床的解析

本田美和子、上田晃弘、吉田邦仁子、鈴木康弘、矢崎博久、田沼順子、源河いくみ、瀧永博之、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

207 抗 HIV 薬の副作用に関するアンケート調査結果

桑原 健、吉野宗宏²、井門敬子³、畝井浩子⁴、工藤正樹⁵、榊原則寛⁶、下川千賀子⁷、小林雅子⁸、寺門浩之⁹、長岡宏一¹⁰、白阪琢磨¹¹
(国立療養所宇多野病院薬剤科¹、国立病院大阪医療センター薬剤部²、愛媛大学医学部附属病院薬剤部³、広島大学医学部附属病院薬剤部⁴、東京都立駒込病院薬剤科⁵、北海道大学医学部附属病院薬剤部⁶、石川県立中央病院薬剤部⁷、新潟大学医学部附属病院薬剤部⁸、国立国際医療センター薬剤部⁹、国立名古屋病院薬剤科¹⁰、国立病院大阪医療センター免疫感染症科¹¹)

■日時：11月29日（土）10：50～11：50

■会場：第 2 会場

31. 副作用

座長 古西 満 (奈良県立医科大学感染症センター)
本田美和子 (国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

202 リポジストロフィーとアディポサイトカインに関する検討

古西 満、高橋 賢、善本英一郎、宇野健司、三笠桂一
(奈良県立医科大学第 2 内科)

203 HARS (HIV-associated Adipose Redistribution Syndrome) に対して rHGH を使用した 2 例についての検討

三浦洋子、東梅友美¹、田中淳司¹、大野稔子²、今村雅寛¹
(北海道大学大学院医学研究科血液内科学¹、北海道大学医学部附属病院看護部²)

■日時：11月29日（土）9：00～10：40

■会場：第 3 会場

32. 啓発・教育

座長 沢崎 康 (財エイズ予防財団)
白井千香 (神戸市保健所)

208 AIDS 文化フォーラム in 横浜の10年

岩室紳也
(社地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)

209 NGO が実施する若者による若者のための啓発 Young Sharing Program (YSP) の効果について

伊藤葉子、ストロネル ケイトリン²、伊藤麻里子³、木下ゆり²、新庄文明³、五島真理為²
(中京大学社会学部¹、特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター²、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科³)

- 210 13年にわたる「36時間電話相談」相談内容から見る日本の HIV 感染不安の傾向と NGO の連携
塩入康史、今井文一郎¹、高橋礼子¹、大坂英治²、今井由三代³、吉原則子⁴、木下ゆり¹、五島真理為¹
(特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター¹、HIV/AIDS との共生をめざす市民の会 (WITH)²、北陸 HIV 情報センター³、HIV かごしま情報局⁴)
- 211 IT を用いた、性感染症予防を目的とする個別教育プログラムの開発
長宗典代、西田好江¹
(岡山大学医学部保健学科¹、大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻²)
- 212 IT を利用した HIV 感染リスクアセスメントプログラムの開発
西田好江、長宗典代²
(大阪大学大学院 医学系研究科 保健学科 総合ヘルスプロモーション科学講座¹、岡山大学 医学部保健学科²)
- 213 高校と保健所の連携から生まれた高校生の手によるエイズ・ピアエデュケーションの実践
平野智之
(大阪府立松原高等学校)
- 214 ゲイ男性・MSM 向けセイファーセックス・ワークショップ「LIFEGUARD」：リスクアセスメント結果の活用と教育用マンガ資料の活用
柏崎正雄、菅原智雄²、風間 孝¹、大石敏寛²、宮内典子³、河口和也⁴
(財団法人 エイズ予防財団¹、NPO 法人 動くゲイとレズビアン²の会²、NPO 法人 レッドリボンさっぽろ³、広島修道大学⁴)
- 215 リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関するパンフレットの作成と若者による評価 — 特に HIV/AIDS について —
剣 陽子
(産業医科大学医学部公衆衛生学)
- 216 臨床検査技師による HIV/AIDS 活動の関わり方について — アジア臨床検査技師研修を通して —
中丁栄美子、玉置達紀²、田中久晴³
(福井循環器病院¹、社会保険紀南総合病院²、済生会和歌山病院³)
- 217 国民向けエイズ広報の普及に関する調査
市川誠一、木村博和²
(名古屋市立大学¹、横浜市立大学医学部公衆衛生学²)

■日時：11月29日（土）10：40～12：00

■会場：第3会場

33. 予防介入

- 座長 鬼塚哲郎（京都産業大学 語学教育研究センター）
山崎浩司（京都大学大学院医学研究科）
- 218 MSM に対する大阪地域でのコンドームアウトリーチの効果
木村博和、市川誠一²、鬼塚哲郎³、松原 新⁴、辻宏幸⁴
(横浜市立大学医学部公衆衛生学講座¹、名古屋市立大学²、MASH 大阪/京都産業大学³、MASH 大阪⁴)
- 219 ゲイ男性等を対象とするワークショップ型介入の予防効果を評価する
風間 孝、大石敏寛²、柏崎正雄¹、菅原智雄²、河口和也³、宮内典子⁴
(財団法人 エイズ予防財団¹、NPO 法人 動くゲイとレズビアン²の会²、広島修道大学³、NPO 法人 レッドリボンさっぽろ⁴)
- 220 ライフスキルを取り入れた HIV/STD 教育啓発活動の教育効果
武富弥栄子、尾崎岩太¹、山田茂人²、佐野雅之³、内川洋子⁴
(佐賀医科大学 保健管理センター¹、佐賀医科大学 附属病院精神神経科²、佐賀医科大学 附属病院輸血部³、佐賀医科大学看護基礎科学⁴)
- 221 感想文の内容分析によるエイズ予防教育の評価検討
山崎浩司、戒田信賢¹、木原雅子¹、木原正博¹、本間隆之¹、荒木善光¹、Zamani Saman¹、Mortazavi Shahrzad¹、Ma Qiaoqin²
(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻国際保健学講座社会疫学分野¹、中国浙江省疾病予防控制中心²)
- 222 若者を対象とした HIV/STD 予防プログラム開発における当事者参加の効果
吉田智子、渡部享宏²、水島 希³、樽井正義⁴
(Youth Focus Kansai (YFK)¹、Campus AIDS Interface (CAI)²、SWASH (Sex Work and Sexual Health)³、慶應義塾大学文学部⁴)
- 223 マイグラントを対象に HIV/Aids/STD 予防における総合対策：在日ブラジル人コミュニティを対象としたモデルプログラム
Elisa Iwaki、津島 Sonia¹、栄口 Luisa¹、木原雅子²、木原正博²、浜田 Emilia¹
(NPO 法人 CRIATIVOS-HIV/STD 関連支援センター¹、京都大学大学院国際保健講座²)

- 224 オーストラリアにおける薬物使用者を対象とした HIV 関連対策とその理念的枠組み — Zero Tolerance から Harm Minimization へ —

榎本てる子、山野尚美²、西田淳志³
 (大阪市健康福祉局¹、皇學館大学社会福祉学部社会福祉学科²、三重大学大学院医学系研究科³)

- 225 HIV 感染予防介入の実践方法論としての「プリベンション・ケースマネジメント (PCM)」の理解と導入に関する研究

藤原良次、鬼塚直樹²、宮島謙介³、椎村和義¹、早坂典生¹、木原正博⁴、山崎浩司⁴
 (りょうちゃんず¹、Center for AIDS Prevention Studies, University of California, San Francisco²、MASH 東京³、京都大学⁴)

■日時：11月29日（土）9：00～10：10

■会場：第4会場

34. 行動・意識調査

座長 木原雅子（京都大学大学院医学研究科）
 井上洋士（東京大学大学院医学系研究科）

- 226 東京周辺部における MSM のコンドーム使用の意志と行動に関する研究：合理化された行為の理論 (TRA) の適用可能性について

葦田竜也、奥村順子、黒岩宙司
 (東京大学・医学研究科・国際保健学専攻・国際保健計画学教室)

- 227 男性同性間の性行為におけるコンドームの使用／不使用に関する研究

葦田竜也、砂川秀樹、生島 嗣、池上千寿子
 (ぷれいす東京)

- 228 HIV 感染者のコンドーム使用の意図と行動、およびそれらの関連要因に関する調査研究

井上洋士、山崎喜比古¹、若林チヒロ²、関由起子³、市川誠一⁴、木原正博⁵
 (東京大学大学院医学系研究科健康社会学¹、埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科²、群馬大学医学部保健学科看護管理学³、名古屋市立大学大学院看護学研究科感染予防学⁴、京都大学大学院医学研究科国際保健学⁵)

- 229 個別性の高い感染知識、性意識および性行動の関連に対する分析

廣岡憲造、前川 勲²、大坂英治²、大久保洋子²
 (旭川医科大学健康科学講座¹、WITH-HIV/AIDS との共生を目指す市民の会²)

- 230 性教育に対する中学校教諭の意識

神戸敏行
 (総合病院国保旭中央病院)

- 231 ネパール、カトマンズにおける男子学生の禁欲意図に関する研究

入山茂美、神馬征峰、若井 晋
 (東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 国際地域保健学教室)

- 232 A QUALITATIVE STUDY ON DRUG ABUSERS' RISK BEHAVIORS AND ATTITUDES TOWARD HIV/AIDS IN IRAN

Zamani Saman、Kihara Masahiro¹、Ono-Kihara Masako¹、Gouya Mohammad Mehdi²、Razzaghi Emran Mohammad²、Vazirian Mohsen²、Yamazaki Hiroshi¹、Mojtahedzade Vahid²、Mostashari Gelareh²
 (Department of Global Health & Socio-epidemiology, Kyoto University School of Public Health, Japan¹、Ministry of Health, Treatment & Medical Education, Iran²)

■日時：11月29日（土）10：10～11：50

■会場：第4会場

35. 抗 HIV 療法 II

座長 桑原 健（国立療養所宇多野病院薬剤科）
 立川夏夫（国立国際医療センター
 エイズ治療・研究開発センター）

- 233 核酸系逆転写酵素阻害薬 Tenofovir の臨床効果

瀧永博之、菊池 嘉、立川夏夫、照屋勝治、源河いくみ、本田美和子、矢崎博久、田沼順子、吉田邦仁子、上田晃弘、鈴木康弘、池田和子、土屋亮人、岡慎一、木村 哲
 (国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

- 234 新しい抗 HIV 薬 Viread (tenofovir) による治療研究の経過報告 (厚生労働省エイズ治療薬研究班治療研究)

西田恭治、福武勝幸¹、青木 眞²、味澤 篤³、岡慎一⁴、木村 哲⁴、白阪琢磨⁵、高田 昇⁶、花房秀次⁷、三間屋純一⁸、福江英尚⁹、山元泰之¹
 (東京医科大学医学部臨床検査医学講座¹、順天堂大学医学部細菌学²、東京都立駒込病院感染症科³、国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター⁴、国立大阪病院総合内科⁵、広島大学医学部輸血部⁶、荻窪病院血液科、静岡県立こども病院血液腫瘍科⁷、東京医科大学霞ヶ浦病院感染症科⁹)

- 235 **初回療法における ABC と EFV の使用成績**
吉野宗宏、永井聡子¹、桑原 健²、下司有加¹、織田幸子¹、谷岡理恵¹、森 正彦¹、長谷川善一¹、上田千里¹、上平朝子¹、白阪琢磨¹
(国立病院 大阪医療センター 薬剤科¹、国立療養所 宇多野病院 薬剤科²)
- 236 **当院での LPV/r、EFV の初回治療成績 第2報**
奥村直哉、長岡宏一、大木 剛
(国立名古屋病院薬剤科)
- 237 **比較的低用量の LPV/RTV+EFV の2剤併用により、CD4数の改善が得られた例**
小林寿美子、吉田 繁²、近藤 健³、橋野 聡³、浅香正博³
(北海道大学輸血部¹、北海道大学医学部附属病院臨床検査部²、北海道大学第3内科³)
- 238 **LPV/r+EFV 併用療法における LPV 血中濃度の検討**
土屋亮人、平林義弘、立川夏夫、矢崎博久、照屋勝治、源河いくみ、本田美和子、瀧永博之、菊池嘉、木村 哲、岡 慎一
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)
- 239 **日本人における Indinavir/Ritonavir の血中濃度についての検討**
平島由香、工藤正樹¹、今村顕史²、味澤 篤²
(都立駒込病院薬剤科¹、都立駒込病院感染症科²)
- 240 **悪性リンパ腫に対する化学療法施行中に HAART を中断した後、HIV-1の薬剤感受性が回復し再開治療が著効した症例の解析**
南宮 湖、長谷川直樹²、田中理恵¹、築地謙治¹、根岸昌功³、加藤真吾¹
(慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室¹、慶應義塾大学病院呼吸器内科²、都立駒込病院感染症科³)
- 241 **当院における急性 HIV 感染者に対する Structured Treatment Interruptions**
田沼順子、上田晃弘¹、吉田邦仁子¹、鈴木康弘¹、矢崎博久¹、本田美和子¹、瀧永博之¹、源河いくみ¹、照屋勝治¹、立川夏夫¹、菊池 嘉¹、岡 慎一¹、木村 哲²、安岡 彰²
(国立国際医療センターエイズ治療開発センター¹、富山医科薬科大学感染制御部²)
- 242 **当院における HIV 感作ウシ初乳漿製品 MDK 2000の使用経験**
西大條文一
(北新宿同仁斎メディカルクリニック)

■日時11月29日(土) 9:00~10:00

■会場:第5会場

36. 服薬アドヒアランス

座長 吉野宗宏 (国立病院大阪医療センター)
天野景裕 (東京医科大学病院
臨床検査医学科)

- 243 **服薬援助のための基礎的調査 — 抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2003年) —**
小島賢一、桑原 健⁴、乃村万里³、日笠 聡⁴、堀成美³、山元泰之²
(荻窪病院血液科¹、東京 HIV 診療ネットワーク²、HIV/AIDS 看護研究会³、関西 HIV 臨床カンファレンス⁴)
- 244 **服薬援助のための基礎的調査 — 抗 HIV 薬の組合せ調査 (2003年) —**
日笠 聡、桑原 健¹、小島賢一²、乃村万里³、堀成美³、山元泰之²
(関西 HIV 臨床カンファレンス¹、東京 HIV 診療ネットワーク²、HIV/AIDS 看護研究会³)
- 245 **抗 HIV 薬服薬指導研修会の経験 — 第2報 —**
畝井浩子、兒玉憲一²、藤田啓子¹、中村真紀子¹、内野悌司³、藤井輝久⁴、高田 昇⁵、木平健治¹
(広島大学医学部附属病院薬剤部¹、広島大学大学院教育学研究科²、広島大学保健管理センター³、広島大学医学部附属病院輸血部⁴、広島大学医学部附属病院エイズ医療対策室⁵)
- 246 **服薬困難により3度の処方変更を余儀なくされた1症例**
野毛一郎
(沼津市立病院 薬剤部)
- 247 **精神症状でエファビレンツの継続が困難となった4事例を通しての一考察**
多田みゆき、有馬美奈
(都立駒込病院)
- 248 **核酸系逆転写酵素阻害剤 Tenofovir (TDF) の使用状況からみた服薬支援の検討**
池田和子、大金美和、渡辺 恵、伊藤将子、武田謙治、福山由美、山田由紀、瀧永博之、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

■日時：11月29日（土）10：00～10：40

■会場：第5会場

37. HIVの感染機構Ⅱ

座長 前田洋助（熊本大学院医学薬学研究部）

249 HIV-1感染に抵抗性を示す細胞株の樹立と解析

齊藤愛記、MARTINEZ BRUYN Viecente Javier、
稲垣好雄、山本直樹、山岡昇司
（東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学）

250 ヒト脳微小血管由来内皮細胞と周皮細胞の共存培養系を用いた HIV-1感染試験

大上厚志、黒崎 大、田中 淳、清水宣明、星野洪郎
（群馬大学大学院医学系研究科分子予防医学）

251 Establishment of HIV-1 latency in primary T-cell subsets

岩部幸枝、李 永剛、木ノ本正信、Jiranan Warachit、Madiha Ibrahim、辻祥太郎、生田和良
（大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫）

252 Differences in the virological criteria of HIV-1 between subtype B and CRF01_AE

Jiranan Warachit、李 永剛¹、河本聡志²、木ノ本正信¹、岩部幸枝¹、Madiha Ibrahim¹、辻祥太郎¹、生田和良¹
（大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫¹、藤田保健衛生大学医学部 ウイルス・寄生虫学講座²）

■日時：11月29日（土）10：40～11：50

■会場：第5会場

38. ベクター／新規治療法開発

座長 河野祐治（東北大学大学院医学系研究科）
遊佐敬介（熊本大学大学院医学薬学研究部）

253 5' LTR 及び Cre/loxP system を用いた HIV-1感染特異的な持続発現ベクターの開発

名川隆志、羽生勇一郎²、黒崎直子¹、高久 洋¹
（千葉工業大学工学部生命環境学科¹、千葉工業大学ハイテクリサーチセンター²）

254 バキュロウイルスベクターによる哺乳動物細胞への遺伝子導入および感染症への治療効果

金子央賢、阿部隆之³、玉井信成¹、黒崎直子²、高久洋²
（千葉工業大学 工学研究科 生命環境科学科¹、千葉工業大学 ハイテクリサーチセンター²、大阪大学 微生物病研究所 エマージング感染症研究セン

ター³）

255 siRNA 発現レンチウイルスベクターを用いた HIV-1発現抑制

西辻裕紀、池田たま子¹、三好浩之²、大橋 貴¹、神奈木真理¹、増田貴夫¹
（東京医科歯科大学医歯学総合研究科免疫治療学¹、理化学研究所バイオリソースセンター細胞運命情報解析技術²）

256 リボヌクレアーゼ誘導型 RNA によるウイルス遺伝子の切断と発現制御

池田雅宏、溝口泰之¹、黒崎直子²、高久 洋²
（千葉工業大学工学部工業化学科¹、千葉工業大学ハイテクリサーチセンター²）

257 デコイ RNA 法を用いたエイズに対する遺伝子治療法の開発

加藤真由美、西辻裕紀¹、三好浩之³、稲垣好雄⁴、山本直樹⁴、黒崎直子²、高久 洋²
（千葉工業大学工学部生命環境科学科¹、千葉工業大学ハイテクリサーチセンター²、理化学研究所筑波研究所バイオリソースセンター³、東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学⁴）

258 ヒト化抗 HIV-1モノクローナル抗体（KD-247）治療対象症例選択法の開発

村上利夫、前田敏宏¹、本多三男²、松下修三³
（化学及血清療法研究所¹、国立感染症研究所 エイズ研究センター²、熊本大学 エイズ学研究センター³）

259 新規ケモカインレセプター阻害剤 T-1113を用いた R5/X4 HIV-1感染 PBMC 刺激培養による CD4陽性T細胞の大量培養

村上 努、広瀬国孝²、谷中幹郎²、山本直樹³、田中勇悦¹
（琉球大学大学院医学研究科免疫学分野¹、呉羽化学生物医学研究所²、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ウイルス制御学³）

■日時：11月29日（土）9：00～9：50

■会場：第6会場

39. HIV 感染コファクター

座長 塩田達雄（大阪大学微生物病研究所）

260 CCR2遺伝子多型のエイズ病態進行遅延効果

中山英美、田中勇悦²、岩本愛吉³、永井美之⁴、塩田達雄¹
（大阪大学微生物病研究所¹、琉球大学医学部²、東京大学医科学研究所³、富山県衛生研究所⁴）

- 261 HIV-1のコレセプターとして機能するケモカイン・レセプターD6、及びフォルミルペプチド・レセプターFML1の解析
清水宣明、田中 淳、大上厚志、星野洪郎
(群馬大学大学院医学系研究科分子予防医学)
- 262 HIV 母子感染及び病態進行に影響を及ぼす宿主因子の検討
小林かな、Songok Elijah²、Lwembe Raphael²、大石 功³、景山誠二²、塩田達雄⁴、木村和子¹、市村宏²
(金沢大学大学院自然科学研究科¹、金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学²、JICA ケニア感染症研究対策プロジェクト³、大阪大学微生物病研究所免疫・生体防御研究部門ウイルス感染制御分野⁴)
- 263 A Circadian Transcription Factor DBP Upregulates Expression of CCR5, a Major Co-Receptor for HIV-1
森内浩幸、森内昌子
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系)
- 264 A major milk cytokine TGF- β down-regulates HIV-1 LTR in mammary epithelial cells
森内昌子、森内浩幸
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系)
- 265 感染者・患者の薬物使用問題への対応の現状と課題
山野尚美、榎本てる子²、西田敦志³
(皇學館大学社会福祉学部社会福祉学科¹、大阪市健康福祉局²、三重大学大学院医学系研究科³)
- 266 薬害 HIV 感染被害者遺族の経験とニーズに関する調査研究 — 質問紙調査結果から — 第3報：遺族の心理および社会生活への影響
溝田友里、井上洋士¹、小澤恵美¹、山崎喜比古¹、丸山由香²、若林チヒロ³、関由起子⁴、的場智子⁵、岡田直人⁶、木村知香子¹、熊谷たまき¹、藤村一美¹、大平勝美⁷、花井十伍⁷、瀬戸信一郎⁷、山西美明⁷、仁科豊⁷、江口洋子⁷
(東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野¹、大阪市立大学大学院生活科学研究科²、埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科³、群馬大学医学部保健学科⁴、日本学術振興会⁵、大谷女子大学⁶、薬害 HIV 感染被害者(遺族)生活実態調査委員会⁷)
- 267 HIV 感染者にたいする栄養支援のあり方に関する研究～日本における HIV 感染者のための栄養指針及び HIV 栄養支援マニュアルの作成～
木下ゆり、東 祐子¹、五島真理為¹、新庄文明²
(特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター¹、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科²)
- 268 HIV 感染者のセクシャルヘルスへの支援に関する調査研究
村上未知子、井上洋士²、有馬美奈³、市橋恵子⁴、岩本愛吉⁵、大野稔子⁶、山元泰之⁷、木原正博⁸
(東京大学医科学研究所附属病院¹、東京大学大学院医学系研究科健康社会学²、東京都立駒込病院³、訪問看護ステーション堂山⁴、東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野⁵、北海道大学医学部附属病院⁶、東京医科大学臨床検査医学⁷、京都大学大学院医学研究科国際保健学⁸)
- 269 外国籍患者の社会的側面の支援体制について — HIV 情報センターの役割の理解と連携 —
城戸千恵子、瀬山尚子¹、丸山敬子¹、吉田 喬²
(富山県立中央病院 看護部¹、富山県立中央病院内科²)
- 270 在日ラテンアメリカ人 HIV 感染者と帰属コミュニティの関係：社会的・心理的圧力に起因する立場の弱さ (vulnerability)
Genaro Castro-Vazquez、樽井正義²
(慶應義塾大学文学部¹、慶應義塾大学文学部²)
- 271 当院受診外国人患者の抱える問題への対応と課題 (HIV-NGO・NPO との連携を通して)
織田幸子、下司有加¹、繁浦洋子¹、上平朝子³、白阪琢磨³、榎本てるこ²、青木理恵子²
(国立病院 大阪医療センター¹、特定非営利活動法人チャーム²、国立病院 大阪医療センター 免疫感染症科³)
- 272 薬害 HIV 感染被害者遺族の経験とニーズに関する調査研究 — 質問紙調査結果から — 第1報：HIV 感染の危険性をめぐって
井上洋士、溝田友里¹、藤村一美¹、小澤恵美¹、山崎喜比古¹、丸山由香²、関由起子³、若林チヒロ⁴、的場智子⁵、岡田直人⁶、木村知香子¹、熊谷たまき¹、大平勝美⁷、花井十伍⁷、瀬戸信一郎⁷、山西美明⁷、仁科豊⁷、江口洋子⁷
(東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野¹、大

■日時：11月29日(土) 9:50~11:20

■会場：第6会場

40. ケア

座長 市橋恵子 (有限会社オフィスグレイス
訪問看護ステーション堂山)
榎本てる子 (大阪市健康福祉局)

阪市立大学大学院生活科学研究科長寿社会総合科学²、群馬大学医学部保健学科看護管理学³、埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科⁴、日本学術振興会⁵、大谷女子大学文学部教育福祉学科⁶、薬害 HIV 感染被害者（遺族）生活実態調査委員会⁷）

273 薬害 HIV 感染被害者遺族の経験とニーズに関する調査研究 — 質問紙調査結果から — 第 2 報：遺族の差別体験とサポートネットワーク

藤村一美、井上洋士¹、溝田由里¹、山崎喜比古¹、小澤恵美¹、丸山由香²、関由起子³、若林チヒロ⁴、的場智子⁵、岡田直人⁶、木村知香子¹、熊谷たまき¹、大平勝美⁷、瀬戸信一郎⁷、仁科 豊⁷、山西美明⁷、花井十伍⁷、江口洋子⁷

（東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野¹、大阪市立大学大学院生活科学研究科²、群馬大学医学部³、埼玉県立大学⁴、日本学術振興会⁵、大谷女子大学⁶、薬害 HIV 感染被害者（遺族）生活実態調査委員会⁷）